

報 告 書

開 催 日 時	令和 7 年 8 月 2 6 日 19 時 00 分 ～ 20 時 00 分		
自治協議会名	古山地区住民自治協議会	開 催 場 所	古山地区市民センター
出席議員	西田 方計、百上 真奈、浅川 友和		
	班 長	西田 方計	記録・報告者 浅川 友和
参加人数	1 5 名		

【主な意見・提言等】

①市指定避難所（旧古山小学校）の雨漏り改修について

- ・古山地区には、市が指定する避難所として旧古山小学校と旧古山保育園の 2 か所がある。
- ・旧古山小学校の体育館は、避難所としてだけでなく、地域のみなさんのスポーツ活動の場としても利用されている。
- ・体育館の雨漏りがひどく、大雨の際には床が水浸しになる箇所があり、安心して利用できない状況。
- ・地域からは早急な改修の実施を求める声が上がっている。
- ・旧校舎については、1 階と 2 階の一部は文化財の収納庫として使用中で、避難所として使えるのは 2 階教室の一部のみとなっている。
- ・福祉避難所については「びいはいふ」が指定されている。

②消火栓用ホース更新に係る助成枠拡大について

- ・約 30 数年前、旧上野市時代に各地区へ「消火栓用ホース収納庫」が設置され、地域の防火体制強化が図られた。その後、収納庫と備品は各地区に譲渡され、以降の保守管理は地区が担っている。
- ・消火用ホースの多くが耐用年数を超過している。メーカー推奨耐用年数：6 ～ 7 年。伊賀市防災活動指針上の規定：20 年。
- ・実際には 20 年以上使用されているホースもあり、火災時の破損リスクが高まっている。
- ・1 本あたり約 20,000 円（令和 6 年度・菖蒲池地区での更新実績）と高額で、設置数も多いため、財政力の限られた地区では一度に更新できないのが現状。
- ・「伊賀市自主防災組織活性化促進補助金」が利用可能。1 年に 1 地区あたり 1 件。補助額は購入費用の 2 分の 1 以内、上限 25,000 円。この制度では、地区内に多数あるホースをまとめて更新することは困難。

③不法投棄の巡回監視の強化について

- ・伊賀市では、令和 2 年以降、年間 5 トンから 8 トン程度の不法投棄が発見されている。
- ・古山地区でも、一時期に比べると量は減ってきているが、依然として 悪質な不法投棄が根強く残っている状況。
- ・市では現在、環境パトロールを 2 班体制で行っていただいている。

- ・山間部などでは家電製品やタイヤなどの大型ゴミが投棄されることもあり、発見・回収の負担が大きいのが現状。
- ・対策として、巡視体制の強化（巡視回数の充実）や不法投棄場所の共有（側溝に投棄されているため発見しづらい）、警察や地域との連携強化（合同パトロールなど）。

④矢田川の改修について

- ・河床の土砂や堆積物により、流れが滞りやすく、農地への影響が懸念される。
- ・土手が高いのでオーバーフローしているわけではないが、浚渫をしないと川底が上がっていき、高さの低い田んぼの方へ道の下を通して水がしみ出す。
- ・川底の調査をするためには川の土手の樹木を伐採しないとできない。道は県の管轄、川底は市の管轄。法面はどこの管轄かわからない。そのため、話が進まない。

⑤道路沿いの草刈り委託について

- ・地域の自治会が「業務委託」という形で担ってきた。
- ・この取り組みは地域の収入の一助になり、住民同士の交流や地域活動の場になるといった面からも、長年にわたり続けられてきた。
- ・燃料費の高騰や委託料の低さにより、実際には赤字負担となっている。
- ・高齢化が進み、草刈りを担う人が減少しており、作業の継続が難しくなっている。
- ・夏場の作業は特に重労働で、体力的な負担が大きい。
- ・もし自治会で対応できなくなると、業者に依頼する必要があるが、費用は現在の6倍程度かかる見込み。
- ・草刈りの回数が減れば、雑草が伸びすぎて見通しが悪くなり、交通安全上の危険や生活環境の悪化につながるおそれがある。
- ・委託料の見直し（現状に見合った水準へ改善）を検討して欲しい。
- ・防草シートなどの新しい方法の導入（本来の目的と違ってきてしまう）。
- ・市による直接的な維持管理体制の検討（人員・予算の課題あり）。

⑥空き家対策について

- ・古山地区をはじめ、市内には長期間放置された空き家があり、瓦の落下や老朽化による事故の危険がある。
- ・一部では、隣接する住民の生活に直接的な影響（瓦の落下・雑草・害虫の発生など）が生じている。
- ・所有者が不明、または親族が遠方に住んでいて管理できないケースが多い。
- ・空き家対策室は職員数が少なく、対応が遅れているのが現状。

伊賀市議会議長 様

令和7年 9月 17日

上記のとおり、地域意見交換会の概要について報告いたします。

令和7年度 地域意見交換会 6 班

班長 西田 方計